

学校教育目標

豊かな心をもちたくましく伸びる子

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
育ってほしい児童の姿												
育ってほしい児童の姿	<p>入学当初の児童の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ○勉強することに関心があり、意欲が高い。 ○友達と一緒に楽しく遊び、だれとでもみんなと仲良く過ごせる子が多い。 ○体を動かして遊ぶのが好き。 <p>お兄さん、お姉さんはすごいな。あんなふうになりたいな！私にも、できるかな？</p> <p>園所ではいろいろなことをしてきたよ。学校ではどんなことをするのかな？早く知りたい、やってみたい！</p> <p>小学校ってどんなところかな？友達できるかな？楽しいといいな！</p> <p>期待する児童の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ○目標を持って挑戦し、やり遂げようと努力する子 ○自他を大切にし、学びを振り返りながら仲間とともに高まり合う子 ○心も身体も元気でたくましい子 											
主な学習活動	<p>生活科を中心とした総合的・関連的な学習活動の充実</p> <p>単元名「ともだちとなかよし」(4H)</p> <p>例) 国語「どうぞよろしく」(3H) 図工「かきたいものなあに」(2H) 算数「ともだち」(3H) 音楽「うたてなかよし」(2H)</p> <p>生活科を中心とした総合的・関連的な学習活動の充実</p> <p>単元名「がっこうでなかよく」(6H)</p> <p>例) 国語「図書館へ行こう」(3H) 図工「いっしょにおさんぽ」(2H) 算数「いくつといくつ」(3H) 音楽「名前あそび」(3H) 特別活動「小学校のきまり」(1H)</p> <p>1年生年間指導計画に基づく学習活動の実施 (総合的・関連的な学習活動を含む)</p>											
環境構成 (人・もの・こと等)	<ul style="list-style-type: none"> ・朝休憩と1時間目はのんびりタイムを設定する。ゆったりと過ごす。【こと】 ・机の配置をグループ机にする。【もの】 ・児童が安心して過ごせるように、複数の教職員や上級生で支援する。(登校、朝の支度、給食、下校)【人】 ・時間の区切りを、音楽を流すなどの聴覚的な支援を行う。【こと】 ・児童が安心して過ごせるよう、児童に寄り添った対応をする。【人】 ・登校班遊びや1年生を迎える会等で、他学年との関わりを作る。【こと】 ・新しい人間関係を築けるように、人と人をつなげる時間や、活動を設定する。(友だちと触れ合う時間、他学年・異学年集団との交流)【人】 ・1日の生活がスムーズに進められるよう、視覚支援をする。必要な時に、必要な物を貼る。(1日の流れ、場所、活動の見通し、ICTの活用)【もの】 ・日直や発表などを複数で行う。言える人から言う。【こと】 ・思いついたときに制作や飼育などができるように、OOコーナーを作り活用できるようにする。【もの】 ・学校生活に慣れ、ゆったりと楽しい気持ちでスタートするために、園での生活に合わせた時間割りを設定する。【こと】 ・ゲームや制作などの活動は1時間単位で進めてもよいが、書く・読むなどは長時間は避け、ゲームなどと組み合わせるなどして、活動的な時間を多く仕組む。【こと】 ・給食の量を配慮する。食べられる分だけよそい、よそった分は食べ切る。【こと】 (・登校班のメンバーの顔合わせを入学前に済ませる仕組みをつくる。) 											
との連携	<p>幼保小連絡会 (5月)</p> <p>園・所の先生研修及び交流 (6月)</p> <p>園・所の先生と研修及び交流 (8月)</p> <p>生活科「おいでよあきのテーマパーク」招待 (11月)</p> <p>園・所職員との合同授業研修 (11月)</p> <p>園・所職員との合同授業研修 (2月)</p> <p>カリキュラムについての交流 (2月)</p> <p>「きょうからともだち」合同授業の設定 (2月)</p> <p>幼保小連絡会 (3月)</p>											
連と組携の織	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者にも学校生活の見通しをもってもらえるように、1週間(4・5月)は、1か月単位で予定や学習内容が分かるようなお便りを出す。 ・宿題への声掛けをしてもらう。 ・持ち物の準備物について知らせ、家庭で準備や確認を一緒にしてもらう。 ・学校でできるようになったことなどを保護者と共有し、できたことを認め合い、自己肯定感を高める。(年間通しての取組とする。) ・家庭学習の習慣づけや文字の定着ができるよう、家庭学習の目的を共有し、協力を依頼する。 ・気になる児童の健康面での細かい配慮ができるよう、連絡帳や電話などで連携を取る。 ・基本的な生活習慣が定着するよう、早寝・早起きし、朝ご飯を食べて登校できるよう家庭と連携する。 <p>児童に家庭学習の習慣が付くよう、きらきらカードや音読、計算カードなどの継続の支援をお願いする。</p> <p>休み明けの登校渋りがある子が気持ちよく登校できるよう、提出物などの確認をしてもらうなど、家庭と連携する。</p> <p>継続</p>											
考 備												